

リウマチの特徴

長期にわたり増悪と緩解を繰り返す多周期型の慢性関節リウマチ(リウマチ)は、主として手指、手首、足指、足首、膝、肘、肩、頸、股のような関節を移動する関節炎を起こす難治な炎症疾患です。この病気は、全国に30万人を超す患者がいると見なされていますが、女性の罹病率は男性の3~4倍以上で、困ったことは働き盛りの中年層で多発します。現在のところ確かな原因是不明ですが、自己抗体のリウマチ因子が検出されることから、免疫異常が発病に大きな役割を果たしている自己免疫疾患と考える説が重視されています。

リウマチの治療法はいろいろあります。が、これで治るという確実な治療法ではなく、現在のところこの病気にかかると一生療養を続けなければなりません。

健康と光線

問題の関節機能については、大体80%の患者は良くなったり悪くなったりしながらも何とか日常生活を営めますが、10~20%の患者は関節の動きが悪くなつて日常生活が困難になり、椅子や寝たきりの身障者になる恐れがあります。

このようなりウマチに起因する障害者を防ぐためには、積極的に関節を動かして関節機能を保つように努めなければなりません。

治療の基本は関節を温め て動かす

一般的に病気の治療では安静が重んじられますが、リウマチの場合は関節を動かさないようになります。安静は禁物で出来るだけの場合は関節を動かさないようになります。安静は禁物で出来るだけ動かさなければなりません。しかしリウマチ患者は関節や筋肉が痛みますので動かすのをとか動かさなければなりません。しかし患者側の協力を得て動かさなければなりません。

- (5) (3) 関節の変形を防止する。
- (4) (3) 関節可動域の保持に役立つ。
- (2) 関節の血行を改善し、関節腫脹を減少させる。
- 筋肉を軽減する。

発行所
〒153 東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行
会員年500円
電話 東京(03)
3793-5281
3712-5322

リウマチと光線療法

— 身障者を作らないために —

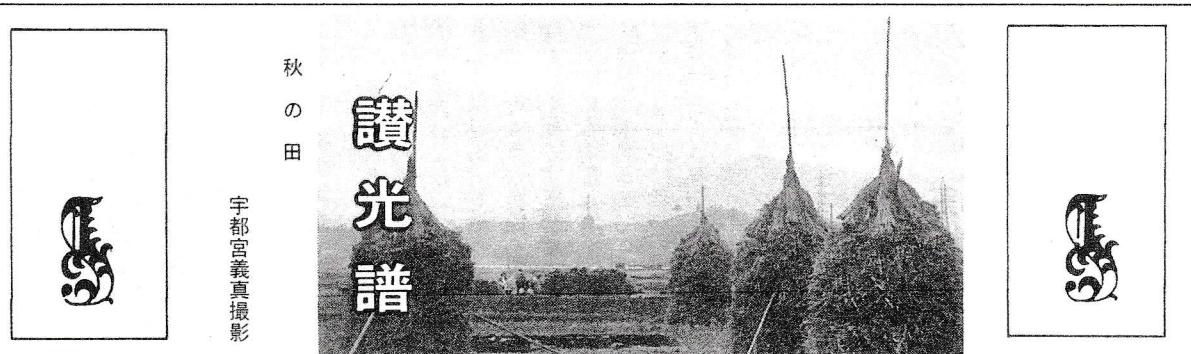
サナモア光線協会
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

などですが、身障者を防ぐ上では欠くべき効果があるのであります。ところでリウマチのような関節の炎症疾患では、温めることで血液の循環を良くしますと痛みが軽減し、筋肉の緊張がほぐれますので、関節を動かし易くなり、関節の機能の保持、回復に役立ちます。

せんには、動かすこと(運動療法あるいはリハビリテーション)と言い換えてもよい)の意義を理解し納得して貰う必要があります。以下、その目的と実際の効能効果を要約しますと、(1)筋力の保持および増大を助け、筋萎縮を防止する。

リウマチによる身障者を少なくするには、前述したようにきちんとした運動療法をしなければなりませんが、それには患者側の協力が大きな要素を占めています。何よりも患者が喜んで協力してくれるようになればなりません。そのひとつの中でも光線療法を利用した手段として、関節を温める温熱療法を積極的に治療に取り入れることは大きな意味があります。熱療法は、光線の優れた透過性に基づく深部温熱効果によって、関節を芯から温めて局所の血流を著明に改善しますので、関節の痛みを軽減し、筋肉の強ばりを和らげ、運動療法の効果を倍増することができます。その結果、関節の機能が保たれますので身障者を防ぐことが可能なのです。これ以外に保存的な治療で身障者を防ぐよい方策はありません。なお光線療法には骨を丈夫にする作用や免疫応答を調整する作用があり、単に運動療法の効果を助けるだけでなく、病因面からの効果も併せて期待できますが、この点については改めて述べることとします。



医者も薬も要らないか

太陽光線の作用を應用したサナモアで病氣が治つた話をする
と、そんなに効果があるのなら医者も薬も要らぬではないか、
と言う人がいる。しかしそれは極端に過ぎるし、非常識である。
そう言つ人は、そんなに効くはずがない、と頭から疑つてゐる。

独特的の任務のあることぐらい赤子でも知っている。薬の使用ひとつをとっても、医者にのみ許された職務である。我々が言いたいのは、サナモアにはサナモアに特有の効能、換言すれば生物が生きて行く上で重要な手助けをする作用のあることである。

光線と生物

光線なくして生物もあり得ないことは明白だが、近世科学もこの問題を取り上げ数限りない研究報告がなされている。

人に対する生理作用について言えば、光線に照らされると血液の全量が増し、その単位血液あたりの赤血球が増し、それぞれの赤血球に含まれる血色素（ヘモグロビン）が増すので顔色が良くなるとか、呼吸中枢が刺激されて呼吸量が増し、而も酸素を運搬する血色素が増して

光線と生物

光線なくして生物もあり得ないことは明白だが、近世科学もこの問題を取り上げ数限りない研究報告がなされている。人に対する生理作用について言えば、光線に照らされると血液の全量が増し、その単位血液あたりの赤血球が増し、それぞれの赤血球に含まれる血色素（ヘモグロビン）が増すので顔色が良くなるとか、呼吸中枢が刺激されて呼吸量が増し、而も酸素を運搬する血色素が増して

人工光線の目標

さて光線療法で太陽光線の代わりをする人工光線について、医学博士正木俊一氏は「人工光線が日光の代用装置であると言ふ根本理由から人工光線の現状を批判するならば、要するにその装置から射出する光線が日光そのものに類似していることが重大な目標となるべきである。日光中の熱線（赤外線）も可視光線も又紫外線も含まれていて、且つ又日光中にはない短波長の光線を発生しない光線、それが即ち人工光線として最も理想的な

いるから空中から体内に取り入れる酸素量がうんと増し、身体全体の機能が盛んになって新陳代謝が盛んになるとか、消化吸収が完全に行われ、且つ有害な物質を解毒する作用が強くなるから栄養状態が良好になるとか、報告を読めば読むほど光線の人間に与える影響がどんなに偉大であるかを痛烈に感じるのである。光線の果物に及ぼす影響について京大で試験した結果でも、蜜柑や柿や梨のビタミンC含有量は、光線を多く受けたものほど多く日陰のものほど少ない、と報告されている。このように食物の質を介して間接的にも影響を受けているのである。

病気は 何で治るのか

宇都宮 義真

神仏の力にすがる人もいる。病気が神仏の力で治るものだとしたら、神や仏に奉仕する者に若死などはないわけである。また信心せぬ者、或は子供や犬猫など神仏に頼る力のない者は到底治る道理はないわけだが、世間を見ればそんなこともない。病は気から、と精神の力を強調する人もある。無論、鬪病心まで否定することは出来ないが、精神力で治るとしたら、植木や虫類の傷の治ることの説明はつかない。

然らば病気は何で治るのか。
それは病を癒す自然良能である。
あらゆる生物に病と闘い癒す力
が賦与されており、医学はこれ
を自然良能と名付けている。実
際に医療に関するあらゆる職
種は自然良能の恩恵で成り立
っている、と言つても過言でな
い。

サナモアは、優れた光線の作用を応用して自然良能を真に高めるので、万病に効果を認めるのである。

「光と熱」

昭和11年4月1日発行

一氣は何で治るのか

留日3年7月一田巻行

時和1年二月、日癸行

—医者も薬も要らぬか

を要約した

を要約した。

食物連鎖（食物網）

私たち人間は生きるために必要な栄養素（蛋白質、脂肪、炭水化物、無機塩類、水、ビタミン）を食物で補っていますが、生態系はこのようない生物間の物質循環で成り立っています。この生物間の物質循環の根源をなすのは、太陽光線のエネルギーを吸収して無機物から有機物を合成する光合成です。

集を消費者と呼び、生産者と消費者、あるいは消費者間の関係を表す言葉が食物連鎖ですが、相互関係は複雑に絡み合っています。おカビのような微生物は、動植物を生産者、動物群を消費者と呼び、生産者と消費者との間に物質循環しますが、総量は一定で増えも減りもしません。その中に生物個体内の物質循環がありますが、基本になるのは同化作用とか異化作用のような物質交代（代謝）です。ここでは

自然界の物質循環

— おおもとは太陽光線 —

医学博士 宇都宮 光明

物の死体や排泄物のような有機物を無機物に分解して、再び植物が利用できるようにする役割を担っていますので分解者と言います。

ところで中生代の地球を支配した巨大恐竜が滅亡したのは、大噴火を起こし太陽光線を遮ったために環境が激変し、食べるものも無くなつた、と言う説があります。太陽光線が遮られれば、生産者としての植物の光合成量も減りますから、恐竜の食料難もうなづけます。

消費者間（動物界）の食物連鎖は、食うか食われるかの関係です。もっとも食う食われる、と動物もあります。それで植物しか食べない草食動物は一次消費者、肉食動物は専ら食われる立場か食う立場かで順に二次、三次、四次消費者と分けています。それ故、緑色植物を生産者、動物群を消費者と呼び、生産者と消費者との間に物質循環で成り立っています。この生物間の物質循環の根源をなすのは、太陽光線のエネルギーを吸収して無機物から有機物を合成する光合成で、全ての動物の食料源になります。そ

食物源は光エネルギーの0.25%

食物連鎖の出発点は、緑色植

物に多量に存在する炭素と窒素の循環について記述します。

自然界の平衡

生物にとっても大切な物質循

環に、大気中の容積の約20%を占めています。

酸素は、これまで植物が光合

成で生産する量と動植物が呼吸

で消費する量とがほぼ平衡して

いる、と考えられています。

しかし近年になって人類は燃料

を大量に消費する一方で森林を

破壊していますので、その影響

が危惧されています。

酸素は外に水として循環して

います。水の循環には、光合成

や食物連鎖のような動植物での

循環もありますが、太陽の放射

熱によって地上の水が蒸発し、

大気中の水蒸気が雨や雪とな

って降る、いわゆる非生物的な

循環もあります。水で特に記憶

に新しいのが今年の深刻な水不足ですが、自然界的な平衡を保つ

がしろにして、雨が降らなくて

も大量の水を消費せざるを得な

い文明社会の泣き所がはしなく

も露呈した、そんな気がします。

ここに人間が出現してから、どう

も碌なことがない、と大恩ある

太陽に叱られないようになつた

ものです。

それでは太陽光線と緑色植物との間のエネルギー効率はどの位になるのでしょうか。その平均は僅かに0.25%、つまり地球上に到達する光エネルギーの40.0分の1でしかありませんが、これで地球上の全生物の食料をまかなっているのです。

窒素は、蛋白質や核酸の主要な構成元素です。植物は窒素の塩類（無機窒素化合物）を取り込み、これに活動エネルギーを得る酸素呼吸の経路で炭水化物から生じる各種の有機酸を結合させてアミノ酸を作り、蛋白質や核酸のようない有機窒素化合物を合成します。しかし動物には無機窒素化合物を同化する能力がありませんので、植物が同化してアミノ酸を作り、蛋白質や有機窒素化合物を食物連鎖で取り入れ、それぞれ個体に適するように窒素同化をしています。

因に食物連鎖で最も高次な位置にいる私たち人間が18歳まで育つのにどの位の食物を食べると思いますか。答えは約7トンだそうです。

自然界の物質（元素）は、いろいろと形を変えながら、地球の間を循環しますが、総量は一定で増えも減りもしません。そこ

の間に生物個体内の物質循環がありますが、総量は一定で増えも減りもしません。その中に生物個体内の物質循環がありますが、基本になるのは同化作用とか異化作用のような物質交代（代謝）です。ここでは

るように窒素同化をしています。生物にとっても大切な物質循環もあります。水で特に記憶に新しいのが今年の深刻な水不足ですが、自然界的な平衡を保つ

がしろにして、雨が降らなくても大量の水を消費せざるを得ない文明社会の泣き所がはしなくも露呈した、そんな気がします。

ここに人間が出現してから、どうも碌なことがない、と大恩ある太陽に叱られないようになつた

ものです。

私の治験例から

神戸市
松元光線治療院

松元 浩士

サナモアの素晴らしいに改めて感激

全身の
打撲症

68歳
男性

サナモアの効能を
改めて再確認した私
自身の治療体験から
述べたい。

平成3年8月16日、
二階の最上段から逆
様に転落した。頭か
ら先に落ちたため、
額と頭頂部の間が腫
れで血がにじみ、首
を強く突いてムチ打
ちのようになつた。

同時に腰から尾骨にかけて強
打し、痛みと腫れで動くことも
できず、足の小指を切り出血し
ていた。顔面蒼白、立つことは
もとより、動くことも出来なか
つた。

家人に助けられ、直ぐさまB
が出来るようになった。無論、

Bで全身照射をした。一日に三
回は照射し、三日目になって腰
はほんの少し動かせるようにな
った。熱も少し出たが何時の間
にか平熱になった。しかし頭の
ふらつきが強く、中々良くなら
ないので病院で精密検査を受け
ることにした。

検査の結果、骨に異常なく、
四十代の人と同じがつしりした
骨だとほめられたが、頭のふら
つきは左側の頭頂部にうつ血を
起こしているためで、自然に散
らすには時間がかかるし、腰の
神経にも圧迫があるので、兵庫
医大で頭と腰と一緒に手術をす
れば頭も足も良くなる、と言わ
れたが、手術は断つて光線治療
を続けた。

治療はB-Bで腰一時間、尾骨
(二号集光器) 30分照射後、B
Dで腰30分、尾骨(一号集光器)
30分照射し、B-B又はB-Dで頸
部を前後左右から、左右の側頭
部、額と頭頂部の腫れた患部、
後頭部(一号集光器)に各20分
照射した。なお小指の傷はA-B
で照射した。

この治療を一旦三回続けたが、
頭のふらつきや腰痛は日増しに
改善し、十日目頃には車の運転
が出来るようになった。無論、

Bで全身照射をした。一日に三
回は照射し、三日目になって腰
はほんの少し動かせるようにな
った。熱も少し出たが何時の間
にか平熱になった。しかし頭の
ふらつきが強く、中々良くなら
ないので病院で精密検査を受け
ることにした。

その後は順調に経過して完治し
たことは言うまでもない。

「後記」私は健康増進のため
日頃から週二回は全身照射をし
ています。そのため骨が丈夫で
骨折せずに済みました。患者さ
んや周辺の知人も、最近は骨の

脆い人が多く階段の二段も踏み
外せば骨折する人も多いのに、
階段の最上段から落ちたのに骨
折せず、それに回復の余りの早
さに光線の素晴らしいを見直さ
れた様です。

たが、言葉や意識が少しづつはっ
きりしてきたので、寝る前にも
一度足裏に一時間照射するよ

うに話してその日は帰宅した。
翌日、病院に連れて行き精密
検査を受けたが、脳梗塞を起こ
し左右の側頭部の血管が詰まっ
ているのでこのままだとボケる、
と医者に言われたと姪は大変な
ショックを受けていた。それな
ら光線療法に頼るしかない、と
決意した。

A-Aで一日三回、足裏に一時
間、A-D又はB-Dで一号集光器
を使って左右側頭部、額、後頭
部、首に各20分、開放で腹、腰
に各20分、顔、首筋に各10分の
照射を続けた結果、病状は日に
日に快方に向かった。病院には
初診の三日後に血液検査に行き、
六日後に再度精密検査を受けに
行つたが、自覚症状だけでなく
検査所見にも著しい改善を認め
たため、医者は不思議そうにし
ていたと言う。

まさか六日でここまで回復す
ることは、と夢にも思っていなかつ
た兄と姪の喜びは口では言い表
せないほどであった。それから
も自宅で日に一回は照射しなが
ら、車で週に一回全身治療のた
めに来ているが、今では以前に

増して健康である。

父と娘に笑顔の戻り福寿草
松元寿美枝

十一指腸潰瘍

60歳 男性

光線は我家の宝医者いらす
松元 浩士

脳梗塞

77歳 男性

平成4年1月29日の朝、兄が

突然言語障害を起こし、寝たま
ま起きられなくなつた。その様
子を見て驚いた姪から、病院は
休みだしうしよう、と電話が
あり、あわてて見に行つた。

着いて直ぐにA-Aで足裏に一
時間半照射しながら暫く様子を
見て、三時間後に足裏一時間、
一号集光器を使って左右の側頭
部、額、後頭部に各20分、首筋

見えて、五日目には肉眼的に見てコール
タール様の便便がなくなり、正
常な便が出るようになった。二
年間苦しんだのがこんなに早く
楽になれたと喜び、早速治療器
を購入してそれから毎日照射し
めに来ているが、今では以前に

十二指腸潰瘍で二年前からコ
ロタール様の便便が出るよう
になり、服薬しながら仕事をし
ていた。しかし再発を繰り返し
て、手術を勧められたが嫌だと断つ
ていた。そんな矢先に友人から
光線療法の話を聞き、手術せず
に治るならと来所された症例で
いた。しかし再発を繰り返し
て、手術を勧められたが嫌だと断つ
ていた。そんな矢先に友人から
光線療法の話を聞き、手術せず
に治るならと来所された症例で
ある。

治療はA-Bで基本照射部位に
各10分照射してから、B-Dで肛
門、腰、背中、下腹、腹に各20
分、十二指腸の部位は一号集光
器を使って前から30分、後ろか
ら20分、膝、足首に各10分、足
裏に30分照射した。その結果、
五日目には肉眼的に見てコール
タール様の便便がなくなり、正
常な便が出るようになった。二
年間苦しんだのがこんなに早く
楽になれたと喜び、早速治療器
を購入してそれから毎日照射し
めに来ているが、今では以前に

(五ページからつづく)
ているが、今では見違えるほど元気になった。

ウイルス性肝炎

45歳 男性

体調の変化、特に異常に疲れ易くなつたことに気付き病院を受診したところ、ウイルス性肝炎と診断され入院した。熱はなかつたが、黄疸、全身倦怠感、食欲不振、吐き気があり、一ヶ月二ヶ月ほどで漸次消失し食欲も出てきたが、肝機能の検査値が改善しないため友人から光線療法を併用したらと勧められ、病院の外出許可を貰つて来所した。

本例は入院中のため三日に一回治療したが、ABで基本照射を各10分して、BDで膝、ふくらはぎ、右上腹部前後ならびに側方(肝臓部)、腹、腰、左上腎臓に各10分、足裏に30分照射した。その結果、肝機能の検査値は速やかにほぼ正常域になり、

入院四ヶ月で退院した。退院後十日間入院加療したが思わずく

も週に一回治療に来ているが、腹の出つ張りも治り体重も元に戻つた。現在、酒も煙草も止めて職務に励んでいる。

腱、靭帯の損傷

52歳 女性

テニスをして右足のアキレス腱と膝の靭帯を切り、二回に分けて手術を受けたが、術後に夜も眠れぬほどの痛みがあり歩行も思うに任せず来所した。

ABで基本照射を各10分してから、BBで一号集光器を使い膝に四方から、同様に足首に四方から各20分、腰、腹、背に各10分、臀部、鼠径部に20分、足裏に30分照射した。この治療で三日目には痛みが殆どなくなり、治療は六回で打ち切ったが、足が軽くなつたと喜ばれた。

A Aで足裏に30分照射し、その後に再度BDで腰に各10分、AAで足首に30分照射し、その後に再度BDで腰に20分照射した。治療を始めて三日目までは日増しに良くなり殆ど痛みがなくなつたが、四日目に再び痛みが増したので痛みが取れるまで照射したところ、嘘のように楽になり、五日目から学校に行けるようになった。それから午前中授業をしてから九日間連続で午後に治療し完治した。

なく、同僚の紹介で来所した。来所時、鎮痛剤を服用しても痛みのため腰を真っ直ぐにすることは出来ず、下肢にしびれと痛みがやつとの状態だった。

腰にはBB全開で30分照射してから、圧痛のあるところに一号集光器を使って痛みが取れるまで照射したが、同時に臀部、鼠径部、左右腎臓(一号集光器)に各20分、膝裏、ふくらはぎ、膝、足首、腹、背、後頭部、首に各10分、AAで足裏に30分照射し、その後に再度BDで腰に20分照射した。治療を始めて三日目までは日増しに良くなり殆ど痛みがなくなつたが、四日目に再び痛みが増したので痛みが取れるまで照射したところ、嘘

天地創造の昔から、眞の光、即ち太陽光線は、私たちに限りない恩恵を与えていました。サナモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従つて、目に見える可視光線だけではなく、目に見えないが無くてはならない紫外線や赤外線を目的に応じて適切に放射しなければなりません。

このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙・普及活動を行つたためサナモア光線協会を設立しました。サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同載いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。
入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都墨田区東向島4-6-18

(神戸市東灘区深江北町2-1
7-31・TEL 078-142-1111)

(本紙の無断転用を禁止します。)



サンモア光線協会
趣 意 書